

週刊

## いいがいね

第23号

208/1063

\*いいがいね…とてもよい・かまわない（金沢弁）

## 第2回特別合同授業 「17歳からの死生観」

10月25日（月）本校体育館にて 山折哲雄 先生による特別合同授業が開催されました。宮沢賢治の童話に象徴される「風」について説明をしていただきました。最近大流行した「千の風になって」にも触れて頂き、日本人と「風」とはなかなか深いつながりがありそうだと考えさせられました。タイトルの「17歳からの死生観」について、「未来ある青年に対してどのような意味があるのか」という質問も出ました。確かに、高校生の皆さんのが「死」を真剣に考えるということはあまり無いかもしれません。おじいさん、おばあさんと同居して生活している人もそう多くはないでしょう。ましてや、最近では自宅で「死」を看取るということも殆どありません。自分は子供の頃からじいちゃん、ばあちゃんと一緒に生活していました、小学校の頃はじいちゃん、ばあちゃんの「死」も意識しませんでした。「ずっと一緒」という感覚でした。しかし、ある日病気になり入退院を繰り返し亡くなる日がきました。両親も同じでした。身近な親戚もそうです。何だか寂しい話ですが、これが現実です。年取った者から順番という訳でもありません。交通事故で亡くなる若者もたくさんいます。蓮如上人の「白骨の御文」では「老少不定」という言葉で表されています。また、人間の無常を「朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身なり」と説いておられます。そして「死の風」は「無常の風」となって吹きます。

山折先生が「人生には結論がありません、だから決断して生きていくのです」とおっしゃった言葉が印象に残りました。一回の人生、青春など真ん中の皆さんも毎日決断して生活しているハズです。やりたい事は沢山あるでしょうが、なかなか実現できないのが高校生の時期かもしれません。ではどうするか？やはり優先順位をつけて日々の生活に取り組むしかないのではありませんか？

今日から11月です。新人大会もあって授業に部活に忙しい人も多い事でしょう。時間は無いし、眠たいし、たいへんですがしっかりと決断して下さいね。迷ったら誰かに相談して下さい。でも最後は自分で決めるのです。決して人のせいにして逃げないで下さい。

## 今年もダメでした。箱根駅伝予選会

平成22年10月16日（土）に第87回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が開催されました。来年の1月2日・3日の箱根駅伝の予選会です。川崎は学生時代から正月の2日・3日はとにかく箱根駅伝一色でした。もちろん母校の順天堂大学の応援のためです。箱根駅伝に順天堂大学が出場できないなどとは考えたこともありませんでした。ところが、昨年は予選会でまさかの13位（11位までが本戦出場…）で52年連続52回目の出場で権利が途絶えてしまったのです。今年こそ捲土重来を期して予選会に臨んだのですが、結果はやはり13位（今年は9位までが本戦出場）でダメでした。1人20キロを走って10人の合計タイムの上位9校が本戦出場とな



ります。予選1位は拓殖大学で10時間11分39秒、予選9位は専修大学で10時間23分31秒でした。（順天堂大学は10時間29分56秒でした）予選会突破タイムは10キロに換算すると1人31分から32分ですから100mを19秒で20キロ走る計算です。とんでもなく早いんです(>\_<)そういう選手を10人も揃えなくてはならないのでなかなか本戦に出場することが困難なわけです。今年の正月も何だか力が入りません…。

## 第87回大会シード校

- 1：東洋大学
- 2：駒澤大学
- 3：山梨学院大学
- 4：中央大学
- 5：東京農業大学
- 6：城西大学
- 7：早稲田大学
- 8：青山学院大学
- 9：日本体育大学
- 10：明治大学

## 予選会突破校

- 11：拓殖大学
- 12：国学院大学
- 13：帝京大学
- 14：中央学院大学
- 15：上武大学
- 16：東海大学
- 17：日本大学
- 18：神奈川大学
- 19：専修大学
- 20：関東学連選抜

## 予選会10位～

- ※法政大学
- ※大東文化大学
- ※亜細亜大学
- ※順天堂大学
- ※国士館大学
- ※松蔭大学
- ※創価大学
- ※流通経済大学
- ※平成国際大学
- ※麗澤大学 (か)